

# 第7章 計画の推進と指標

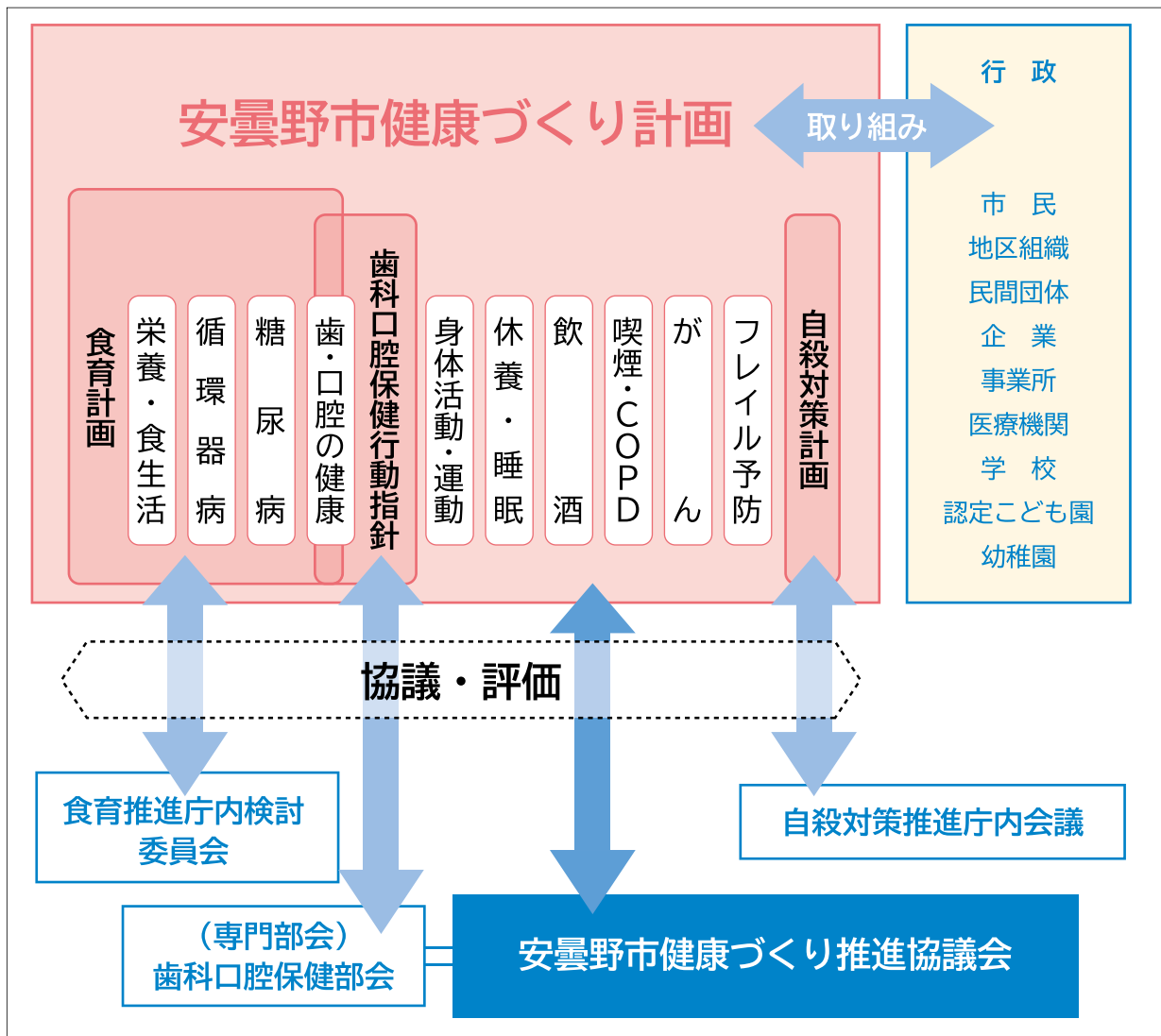
## 1. 計画の推進について

計画の推進には、前計画で評価した課題を踏まえた対策の取組と、市民や関係団体に計画の趣旨を周知し、市民一人ひとりができることを実践して、社会全体で一体的に健康づくりに取り組む必要があります。

また、健康づくり推進協議会及び専門部会や庁内会議などで、計画の実施状況を定期的に確認しながら、進捗状況について協議し関係機関とも連携して健康づくり計画を推進していきます。

## 2. 計画推進のための体系図

【図表1】



### 3. 目標と指標について

#### (1) 目標と指標

国では、目標の設定にあたり「科学的根拠に基づいた実態把握が可能な具体的な目標の設定」、「実行可能性のある目標をできるだけ少ない数で設定」、「目標の指標に関する情報収集に現場が疲弊することなく、既存のデータ活用により自治体が自ら進行管理できる目標設定」であることが示されています。

特に、自治体自ら目標の進行管理を行うことができるように、設定した指標のうち重要と考えられる目標値については、中間評価や最終評価を行う年以外の年度においても、施策の立案に活用できる既存の統計調査でモニタリングすることが可能な指標とすることが望ましいとされました。そのため、項目として設定する目標値について、既存のデータで自治体が活用可能と考えられるものが例示されました。

これらを踏まえ、安曇野市でも毎年の保健事業を評価し、次年度の取組に反映させることができる指標と目標値を設定しています。

#### (2) 指標と目標値の設定

【図表2】安曇野市の指標と目標値設定（対比表）

部門	出典元	国の指標	目標値	市の指標	現状値	目標値
栄養・食生活	健康日本21(第三次)	BMI18.5以上25未満(65歳以上はBMI20を超え25未満)の者の割合(年齢調整値)	66%	40～60歳代男性の肥満者(BMI25以上)の割合	32.7%	30.0%未満
	健康日本21(第三次)	児童・生徒における肥満傾向児の割合		40～60歳代女性の肥満者(BMI25以上)の割合 若年女性(20～30歳代)のやせ(BMI18.5未満)の人の割合 低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者(65歳以上)の割合	18.8%	15.0%未満
	健康日本21(第三次)	児童・生徒における肥満傾向児の割合	第2次成育医療等基本方針に合わせて設定	児童・生徒における肥満傾向児(肥満度20%以上)の割合(小学5年生)	15.7%	15.0%未満
					20.7%	13.0%未満
					12.8%	減少

部門	出典元	国の指標	目標値	市の指標	現状値	目標値	
身体活動・運動	健康日本21(第三次)	運動習慣者の割合(年齢調整値)	40%	日常生活における身体活動実施者の割合 運動習慣者の割合	61.0%	64.0%	
	健康日本21(第三次)	睡眠で休養がとれている者の割合(年齢調整値)	80%	睡眠で休養がとれている人の割合	77.0%	80.0%	
飲酒	健康日本21(第三次)	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合	10%	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合(男女合計)	8.0%	7.0%	
	健やか親子21(第2次)	妊娠中の妊婦の飲酒率	0%	妊婦の飲酒率	0.9%	0%	
COPD	成育医療等基本方針に基づく評価指標	妊婦の喫煙率	0%	妊婦の喫煙率	0.9%	0%	
	健康日本21(第三次)	20歳以上の者の喫煙率	12%	喫煙率	10.3%	9.5%	
歯・口腔の健康	歯・口腔の健康づくりプラン	3歳児でう蝕のない者の割合	95%	むし歯のない3歳児の割合	89.4%	95.0%	
		3歳児で4本以上のう蝕のある歯を有する者の割合	0%	4本以上のむし歯がある3歳児の割合	2.4%	0%	
		12歳児でう蝕のない者の割合	95%	むし歯のない12歳児の割合	87.1%	95.0%	
	健康日本21(第三次)	40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合(年齢調整値)	5%	5%	自分の歯が19歯以下の人の割合(40歳以上)	11.9%	8.0%
		40歳以上における歯周炎を有する者の割合(年齢調整値)	40%	40%	歯周炎を有する人の割合(40歳以上)	61.1%	50.0%
		50歳以上における咀嚼良好者の割合(年齢調整値)	80%	80%	しっかり噛んで食べることができる人の割合(50歳以上)	81.1%	85.0%
がん	健康日本21(第三次)	がんの年齢調整死亡率(人口10万人当たり)	減少	75歳未満のがんの年齢調整死亡率(人口10万対)	50.7	減少	

部門	出典元	国の指標	目標値	市の指標	現状値	目標値		
がん	第4期がん対策推進 基本計画	がん検診の受診率	60%	がん検診受診率	胃がん	9.5%	11.0%	
					大腸がん	20.3%	21.0%	
					肺がん	2.3%	3.0%	
					子宮頸がん	33.7%	34.5%	
					乳がん	37.7%	39.0%	
					胃がん	86.3%	90.0%	
					大腸がん	82.6%	90.0%	
					肺がん	100%	90.0%	
					子宮頸がん	79.5%	90.0%	
					乳がん	91.8%	90.0%	
循環器病	健康日本21(第三次)	脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率(人口10万人当たり)	減少	脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)(男性)	脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)(男性)	51.4	減少	
					虚血性心疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)(男性)	11.9	減少	
					収縮期血圧の平均値(40歳以上、内服加療中の者を含む。)(年齢調整値)	ベースライン 値から5mmHg の低下	6.5%	4.7%
					LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合(40歳以上、内服加療中の者を含む。)(年齢調整値)	ベースライン 値から25%の 減少	10.9%	8.2%
					メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の人数(年齢調整値)	第4期医療費 適正化計画に 合わせて設定	18.3%	15.6%
					特定健康診査の実施率	第4期医療費 適正化計画に 合わせて設定	10.5%	7.0%
					特定保健指導の実施率	第4期医療費 適正化計画に 合わせて設定	45.7%	60.0%
					特定保健指導の実施率	第4期医療費 適正化計画に 合わせて設定	62.8%	60.0%以上

部門	出典元	国の指標	目標値	市の指標	現状値	目標値
糖尿病	健康日本21(第三次)	糖尿病腎症の年間新規透析導入患者数	12,000人	新規透析導入患者のうち糖尿病有病者の割合	56.3%	52.5%
		治療継続者の割合	75%	治療継続者の割合	62.2%	75.0%
		HbA1c8.0%以上の者の割合	1.0%	血糖コントロール不良者 (HbA1c8.0%以上) の割合	1.05%	0.90%
		糖尿病有病者数(糖尿病が強く疑われる者)の推計値	1,350万人	糖尿病有病者 (HbA1c6.5%以上) の割合	8.8%	7.3%
		メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の人数(年齢調整値)(再掲)	第4期医療費適正化計画に合わせ設定	メタボリックシンドローム該当者の割合(再掲)	18.3%	15.6%
		特定健康診査の実施率(再掲)	第4期医療費適正化計画に合わせ設定	メタボリックシンドローム予備群の割合(再掲)	10.5%	7.0%
		特定保健指導の実施率(再掲)	第4期医療費適正化計画に合わせ設定	特定健診の受診率(再掲)	45.7%	60.0%
		特定保健指導の実施率(再掲)	第4期医療費適正化計画に合わせ設定	特定保健指導の実施率(再掲)	62.8%	60.0%以上
		—	—	低栄養傾向(アルブミン3.8g/dl以下)の高齢者(75歳以上)の割合	14.3%	12.0%
		—	—	1週間に1回以上ウォーキングなどの運動をしている人の割合(75歳以上)	60.3%	62.0%
フレイル予防	健康日本21(第三次)	50歳以上における咀嚼良好者の割合(年齢調整値)(再掲)	80%	しっかりと噛んで食べることができる人(50歳以上)(再掲)	81.1%	85.0%
		—	—	週に1回以上外出している人の割合(75歳以上)	92.0%	93.0%
		—	—	骨折をする人の割合	14.6%	14.0%
		—	—	3歳児	0.2%	0.1%
食育推進計画推進	第4次食育推進基本計画	朝食を欠食する子供の割合	0%	朝食欠食者の割合	2.9%	2.0%
		—	—	—	3.2%	2.0%

部門	出典元	国の指標	目標値	市の指標	現状値	目標値	
食育推進計画	第4次食育推進基本計画	—	—	主食・主菜・副菜の揃ったバランスの良い朝食を食べる割合	60.1%	70.0%	
		—	—	朝食を子どもだけで食べる割合	56.9%	60.0%	
		—	—	学校給食で市内産農産物を利用する割合	10.0%	10.0%未満	
		—	—	—	25.8%	20.0%	
自殺対策計画	自殺総合対策大綱	—	—	—	42.3%	40.0%	
		自殺死亡率 (人口10万人当たりの自殺者数)	13.0以下(R8)	自殺死亡率 (人口10万対)	21.4	13.9以下	
	—	—	—	安曇野市自殺対策推進庁内会議の開催	年1回	年1回以上	
	—	—	—	ゲートキーパー研修受講者数	605人	1,500人	
	—	—	—	市広報紙での啓発	年2回	年2回以上	
	第2次総合計画(後期)	—	—	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	89.9%	92.1%	
	地域における自殺の基礎資料	—	—	勤務問題を理由とする自殺者数	10人	7人	
	第2次総合計画(後期)	—	—	—	元気高齢者の割合	90.1%	90.4%
		—	—	—	「生活に困ったときに相談できる体制が整っている」と思う市民の割合	18.8%	20.0%
	—	—	—	「SOS の出し方に関する教育」を実施する公立中学校	全校実施	全校実施	

【図表3】ライフステージ別一覧：市民が取り組むこと

年齢	周産期	子ども期 (0～19歳)	大人期 (20～64歳)			高齢期 (65歳～)	
	0歳	10歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳
栄養・食生活			<input type="checkbox"/> 自分や家族のからだにだけに関心を持ち、生涯を通して適正体重の維持に努める。 <input type="checkbox"/> 自分にとって正しい食事を知り、生活に取り入れる。				
身体活動・運動			<input type="checkbox"/> 自分の活動量を把握する。 <input type="checkbox"/> 活動量を増やす為に、日常生活動作の中に運動を取り入れる。 <input type="checkbox"/> 運動に関する情報を得て実践する。				
休養・睡眠			<input type="checkbox"/> 生活リズムを整える。 <input type="checkbox"/> 6～9時間の睡眠時間を確保するよう心掛ける。 <input type="checkbox"/> 6～8時間の睡眠時間を確保するよう心掛ける。				
飲酒			<input type="checkbox"/> 妊娠中は飲酒しない。 <input type="checkbox"/> アルコールによる健康障害を知る。 <input type="checkbox"/> 適正飲酒に努める。				
喫煙・COPD			<input type="checkbox"/> 妊娠中は喫煙しない。 <input type="checkbox"/> 喫煙が及ぼす健康被害について正しい知識を持つ。 <input type="checkbox"/> 自分と家族の健康を守るため禁煙に努める。 <input type="checkbox"/> 望まない受動喫煙を防ぐため、喫煙に際しては周囲への配慮義務を順守する。				
歯・口腔の健康			<input type="checkbox"/> 歯と口腔の健康づくりに関する知識や理解を深める。 <input type="checkbox"/> 必要な口腔ケアを毎日行う。 <input type="checkbox"/> 年1回は歯科健（検）診を受ける。				
がん			<input type="checkbox"/> HPV感染症の予防接種を受けるよう努める。 <input type="checkbox"/> 禁煙、節酒、適正体重の維持に努める。 <input type="checkbox"/> がん検診の利益・不利益を知ったうえで、定期的に検診を受ける。 <input type="checkbox"/> がん検診で精密検査となった場合は必ず精密検査を受ける。				
循環器病			<input type="checkbox"/> 血圧、血中脂質、体重の適正な値を維持し、循環器病の発症予防、重症化予防に努める。 <input type="checkbox"/> 健診を受けて、自分のからだの状態を知る。				
糖尿病			<input type="checkbox"/> 適正な血糖値を維持し、糖尿病の発症予防、合併症の予防に努める。				
フレイル予防			<input type="checkbox"/> 自分にとって正しい食事を知り、低栄養を予防する。 <input type="checkbox"/> 日常生活の中に運動を取り入れ筋力低下を予防し、適正体重の維持に努める。 <input type="checkbox"/> 骨粗しょう症のリスクとなる高血圧、糖尿病などの生活習慣病を予防する。 <input type="checkbox"/> 各種健診を受ける。 <input type="checkbox"/> 社会参加や運動に関する情報を得て実践する。				
食育推進計画			<input type="checkbox"/> 子どもも大人も栄養バランスと減塩に配慮した望ましい食生活を実践する。 <input type="checkbox"/> 家族や友人等と一緒に食事をとる機会をつくる。 <input type="checkbox"/> 生活習慣病予防や改善のため、適正体重を維持する。 <input type="checkbox"/> 食事の質の向上のため、歯と口腔の健康を維持する。 <input type="checkbox"/> 健診を受けて、自分のからだの状態を知る。 <input type="checkbox"/> 食生活は自然の恩恵の上に成り立ち、食料の生産から消費に至るまで、さまざまな人によって支えられていることに感謝する。				

【図表4】ライフステージ別一覧：市が取り組むこと

年齢	周産期		子ども期 (0～19歳)				大人期 (20～64歳)				高齢期 (65歳～)	
	0歳	10歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳				
栄養・食生活			○母子保健事業における保健指導、健康教育、知識の普及啓発 ○小学生血液検査後の保健指導 ○肥満傾向児の対策に向けた学校等との連携			○特定保健指導、重症化予防の保健指導 ○知識の普及啓発、健康相談、健康教育 ○高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業						
身体活動・運動			○健康づくり・介護予防の知識の普及啓発 ○市内体操自主グループへの支援 ○健康運動指導士による個別運動指導 ○地域での健康教育などを通じた運動習慣の普及 ○あつみの健康体操の普及 ○市の各部署や関係機関が実施している事業の情報提供									
休養・睡眠			○各種保健事業での健康教育や情報提供、健康相談 ○広報等による知識の普及 ○健康診査、特定健診等の結果に基づいた保健指導									
飲酒			○各種保健事業での健康教育や情報提供			○健康診査、特定健診等の結果に基づいた、適切な飲酒への個別指導						
喫煙・COPD			○各種保健事業での健康教育や情報提供			○健康診査、特定健診等の結果に基づいた個別禁煙相談						
歯・口腔の健康			○歯科口腔保健部会 ○フッ化物洗口			○各種歯科健診、歯科相談、歯科保健指導、健康教育、訪問指導 ○広報等による知識の普及 ○高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業 ○訪問型サービス						
がん			○HPV 感染予防 接種の 実施			○がん検診の利益と不利益の周知、各種がん検診の実施 ○各種保健事業での健康教育や情報提供、○検診対象者への受診勧奨、がん検診推進事業の実施 ○精密検査未受診者への受診勧奨 ○アピアランスケア助成						
循環器病 糖尿病			○妊産婦・新生 児等訪問指導			○広報、ポスターなどによる啓発 ○特定健診、後期高齢者健診、健康診査、特定健診後の二次健診 ○特定保健指導、重症化予防の保健指導 ○健康教育、健康相談、医療機関との連携						
フレイル予防						○40歳未満の 健康診査 ○高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業						
食育推進計画			○認定こども園、幼稚園における食育 ○学校における食に関する指導 ○給食を活用した食育			○知識の普及啓発、健康相談、健康教育、各種健診、保健指導						